

令和6年度中学生チャレンジテスト（1・2年生）の結果概要

大阪府教育庁

○内容

- ・中学校第1学年：国語、数学、英語、生徒アンケート
- ・中学校第2学年：国語、社会（選択問題A・B）、数学、理科（選択問題A・B）、英語、生徒アンケート

○対象

- ・府内の市町村立中学校、義務教育学校後期課程
- 及び府立中学校並びに支援学校中学部の第1学年及び第2学年

○実施校数(1月9日実施分)

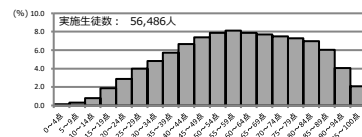
- ・中学校第1学年：471校
- ・中学校第2学年：469校

○実施生徒数(1月9日実施分)

- ・中学校第1学年：56930人
- ・中学校第2学年：56686人

中学校1年【国語】

平均点	無解答率
58.5点	9.4%



良好 □文章の中での接続詞の働きを理解すること。

□文章の冒頭部分の段落の役割について理解すること。

課題 ■文章の内容をとらえ、筆者の考えを読み取ること。

■ことばや文章の工夫点等について評価し、考えたことを書くこと。

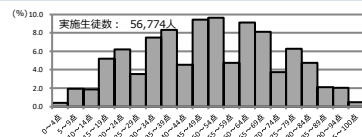
【これからの学習に向けたアドバイス】

★文章の内容をとらえ筆者の考えを読み取る力は、さまざまな文章が、何を伝えているのかを意識しながら読むことで培われます。本はもちろんのこと、新聞やネットに掲載されたニュースの記事などを読むことも効果的です。

★ことばや文章は、書いた人の思いや考えが相手に伝わるように、表現が工夫されています。普段出合うことばや文章には、どのような工夫がなされているのかを自分なりに考えるようにしましょう。

中学校1年【数学】

平均点	無解答率
49.8点	8.8%



良好 □負の数の加法の計算をすること。

□x座標とy座標の意味を理解すること。

課題 ■垂線や垂直二等分線の作図の方法を理解すること。

■水量と時間を表した複数のグラフから、必要な情報を読み取ること。

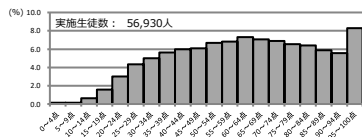
【これからの学習に向けたアドバイス】

★作図をするときは、一つ一つの作業の意味を考えながら作図しましょう。また、垂直・並行になる直線や、同じ長さになる線分などについて確認しましょう。

★数量の関係を表したグラフや式を読み取るときは、縦軸や横軸が何を表しているのかを確認し、傾きや切片の違いに着目しましょう。

中学校1年【英語】

平均点	無解答率
61.5点	5.8%



良好 □短いやり取りなどを聞き、話し手の意図を理解したり、内容の要点を把握したりすること。

□日常的な話題についての簡単な会話文から必要な情報を読み取ること。

課題 ■文法や語彙の知識を活用し、場面に応じた英文を書くこと。

■まとまった英文を読み、必要な情報をとらえ、読み取った情報を整理すること。

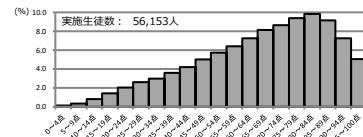
【これからの学習に向けたアドバイス】

★文法や語彙はコミュニケーションを支えるものです。小学校で慣れ親しんだ語彙や表現も含め学習で使った表現は、単語の綴りや語順を意識しながら繰り返し使ってみましょう。

★まとまった英文を読むときは、意味のわかる言葉から、まずおおその意味を予想し、概要をとらえましょう。

中学校2年【国語】

平均点	無解答率
65.5点	9.3%



良好 □文章の中での接続詞の働きを理解すること。

□ことわざの意味を理解すること。

課題 ■図表などの資料から分かることを、前後の文脈にあわせて書くこと。

■書いた文章を、読み手の立場に立って推敲すること。

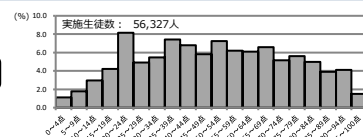
【これからの学習に向けたアドバイス】

★図表などの資料から分かることを書くときは、まず図表などから読み取れることを箇条書きで書き出しましょう。そして、書き出したものを取捨選択し、前後の文脈にあわせて、どのように配列するかを考えて文章を組み立てましょう。

★書いた文章を推敲するときは、伝えたいことが明確に伝わるかどうかを読み手の立場に立って考え、表記や語句の用法、説明の順序などを確かめて文章を整えましょう。

中学校2年【数学】

平均点	無解答率
50.7点	9.5%



良好 □文字式の加法と減法の計算をすること。

□平行線に直線が交わってできる角の大きさを求めること。

課題 ■合同な図形の性質などを用いて、等しい角を見いだすこと。

■一次関数について、グラフの傾きの範囲を考慮すること。

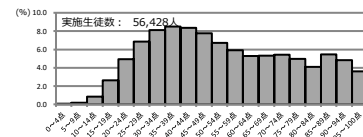
【これからの学習に向けたアドバイス】

★図形の角度について考えるときは、対頂角、同位角、錯角などに着目して、一つ一つの角の大きさについて考えましょう。

★グラフの傾きの範囲について考えるときは、自分が導き出した最小値、最大値を式に代入し、式が成り立つか確認しましょう。

中学校2年【英語】

平均点	無解答率
54.0点	7.9%



良好 □会話文などを聞き、話し手の意図を理解したり、内容の要点を把握したりすること。

課題 ■文法や語彙の知識を活用し、場面に応じた英文を書くこと。

■まとまった英文を読み、必要な情報をとらえ、読み取った情報を整理すること。

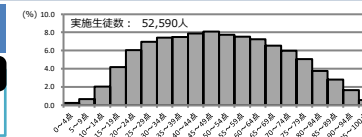
【これからの学習に向けたアドバイス】

★文法や語彙はコミュニケーションを支えるものです。繰り返し書いたり読んだりして理解しましょう。また、日記やレポートなど、さまざまな場面で繰り返し使いましょう。

★まとまった英文を読むときは、意味のわかる言葉から、まずおおその意味を予想し、概要をとらえましょう。

中学校2年【社会A】

平均点	無解答率
49.5点	5.2%



良好 □地理や歴史に関する基礎的・基本的なことから理解すること。

□地図や具体的な写真等から、その地域の建物や道の特徴についてとらえ説明すること。

課題 ■グラフなどの複数の資料から情報を読み取ること。

■グラフなどの複数の資料から読み取った情報をもとに考察し、説明すること。

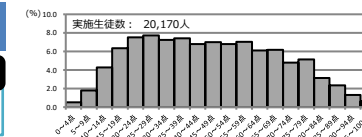
【これからの学習に向けたアドバイス】

★グラフなどの複数の資料から情報を読み取るときは、まず何に関する資料かをタイトル等から理解したうえで、資料に示された年代、数量等の具体的な数値や推移をとらえるようにしましょう。

★グラフなどの複数の資料から読み取った情報について考察するときは、情報を比較したり関連付けたりして、共通点や相違点、特徴的な点についてとらえ、箇条書きで書き出しましょう。そして、自分なりに気づいたことをまとめてみましょう。

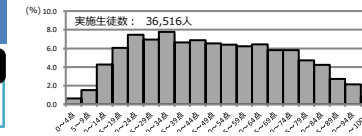
中学校2年【理科A】

平均点	無解答率
45.9点	6.6%



中学校2年【理科B】

平均点	無解答率
47.2点	7.4%



良好 □銅と酸素が結びつくときの化学変化や化学反応式を理解すること。

課題 ■目的に合わせて条件を変えて実験し、その結果を比較して考察する「対照実験」について理解すること。

■酸化銅と炭素が化学変化した後の、それぞれの物質の質量の変化について考えること。

【これからの学習に向けたアドバイス】

★観察や実験をするときは、計画を立てる際に、予想や仮説と異なる結果が出る場合を想定して、課題を解決するための適切な方法を検討したり、条件を変えて比較することで確かめられることがないかを考えたりしましょう。また、観察や実験で得られたデータは、図や表、グラフなどに整理して、データに規則性がないかどうかを考察しましょう。

令和6年度中学生チャレンジテスト（1・2年生）の生徒アンケート結果

それぞれのグラフに、
その他や無回答の数値は示していません。

アンケート項目の中から、普段の学習や生活の中でみなさんが取り組んだり意識したりしてほしいことを以下に取り上げました。今回のアンケートにおいて、「当てはまる」かどうかを選択肢で回答する項目については、肯定的な回答をしている生徒ほど教科のテストの平均点が高い傾向が見られるものです。みなさん自身の状況を振り返り、ぜひこれからの学習や生活の参考にしてください。

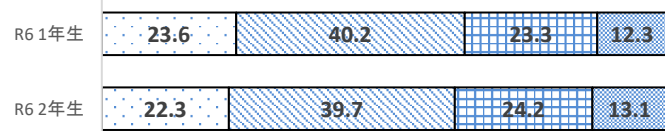
学習するときに意識しよう

■ 文章や資料などを読むときに、どこが大事なのを考えながら読んでいます。



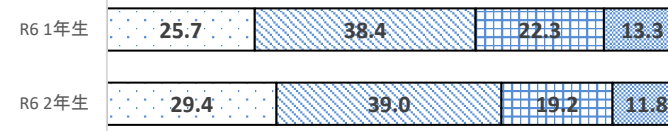
- ☐ 当てはまる
☐ どちらかといえば、当てはまる
☐ どちらかといえば、当てはまらない
☐ 当てはまらない

■ 家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強しています。



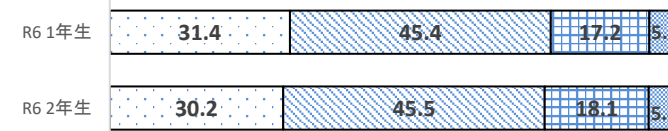
- ☐ 当てはまる
☐ どちらかといえば、当てはまる
☐ どちらかといえば、当てはまらない
☐ 当てはまらない

■ わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べています。



- ☐ 当てはまる
☐ どちらかといえば、当てはまる
☐ どちらかといえば、当てはまらない
☐ 当てはまらない

■ 難しいことがあっても、あきらめない。



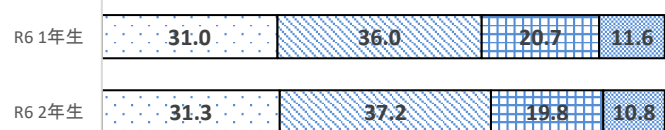
- ☐ 当てはまる
☐ どちらかといえば、当てはまる
☐ どちらかといえば、当てはまらない
☐ 当てはまらない

学習の成果をより確かなものにするためには、「させられる」学びではなく、「自らすすんで」主体的な学びが必要です。左に挙げた4つの項目は、主体的な学びにつなげるための大切な項目です。苦手なことに取り組むことは、決して楽なことではありませんが、自分で調べたり誰かに方法をたずねたりしながら、あきらめずに取り組むことで、自分の力をさらに伸ばすことができます。

いずれの項目においても、半数以上の生徒が肯定的に回答し、特に「文章や資料などを読むときに、どこが大事なのを考えながら読んでいます」という項目については、80%以上の生徒が肯定的な回答をしており、主体的に学ぶ姿勢が身に付きつつあると考えられます。しかし、「当てはまる」という強い肯定で回答した生徒は、どの項目においても、半数に届いていません。確かな学力の向上につなげるためにも、左に挙げた項目について、「どちらかといえば、当てはまる」ではなく、自信をもって「当てはまる」と答えられるよう、日々意識しながら学習を進めてみましょう。

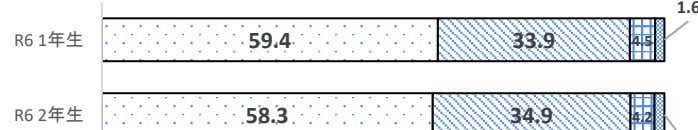
学校や普段の生活で意識しよう

■ テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている。



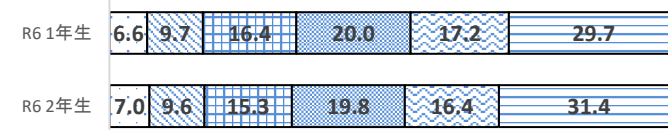
- ☐ 当てはまる
☐ どちらかといえば、当てはまる
☐ どちらかといえば、当てはまらない
☐ 当てはまらない

■ 学校などで、他の人と協力し合うことができる。



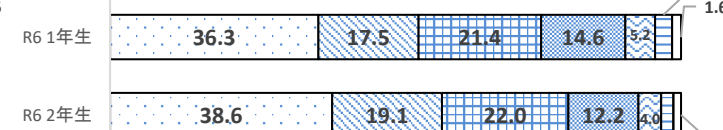
- ☐ 当てはまる
☐ どちらかといえば、当てはまる
☐ どちらかといえば、当てはまらない
☐ 当てはまらない

■ 普段（月曜日から日曜日）、1日平均どれくらいの時間、本（教科書は除く）を読みますか。



- ☐ 2時間以上
☐ 30分以上、1時間より少ない
☐ 10分以上、30分より少ない
☐ 10分より少ない
☐ 1時間以上、2時間より少ない
☐ 全く読まない

■ 普段（月曜日から日曜日）、1日平均どれくらいの時間、学習以外（ゲームやSNSなど）にスマートフォンやタブレットを使っていますか。



- ☐ 4時間以上
☐ 2時間以上、3時間より少ない
☐ 30分以上、1時間より少ない
☐ 30分より少ない
☐ 3時間以上、4時間より少ない
☐ 1時間以上、2時間より少ない
☐ 30分より少ない
☐ スマートフォンやタブレットを持っていない

社会的なニュースについて見ていない生徒や、本を全く読まない生徒が、30%程度いることが分かりました。ニュースを見たり本を読んだりすることは、今まで知らなかったに出会うことができ、物事の見方や考え方が広がる良い機会です。物事の見方や考え方が広がれば、学習内容をより深く考え理解することにつながります。また、文章の内容を読み取る力も高めることができます。まずは、短時間でもニュースを見たり、読書をしたりしてみましょう。

また、スマートフォン等の学習以外での使用時間について、1日3時間以上使っている生徒の割合が、半数以上ということがわかります。適度な使用は気分転換にもなりますが、過度な使用は学習の妨げになることもあります。毎日の使い方について、今一度振り返ってみてください。

一方、他の人と協力し合うことができるという項目については、90%以上の生徒が肯定的にとらえています。他の人と協力しようとする姿勢は、協働して課題に取り組むときにも役立ちます。引き続き学習の場面で、また普段の生活で、意識して取り組むようにしましょう。

